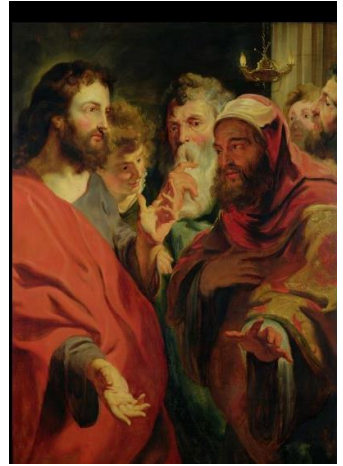


永遠の命

知っておきたいキリスト教のことば (22)

「永遠の命」、この言葉はとても理解が難しいものだといわたしは思います。永遠の命という言葉は新約聖書の中に 43 回も出てきますが、その意味がよくわからない、というよりも、別の意味に取ってしまうことがあるからです。

わたしは初め、「永遠の命」という言葉を聞いて、ずっと死なないことだと思っていました。そしていつまでも生き続ける、そのように捉えていたのです。しかしクリスチャンにも死は訪れます。信仰を持っていたても、必ず天に召される日は来るのです。



それでは聖書のいう「永遠の命」とは、一体何なのでしょう。聖書には、「永遠の命」を得るには何をすればよいかと、イエス様に質問をする人が出てきます。イエス様はそこで善いサマリア人のたとえを語ったり、また財産を売り払うようにと諭したりします。しかしそもそも「永遠の命」とは、良いことをしたご褒美として与えられるものではないのです。

ヨハネによる福音書 3 章 16 節の言葉にある通り、神さまはわたしたちが一人として滅びることを望んではおられません。イエス様を信じる人が神さまの愛の中に、救いの恵みの中に入るようにと、み子を遣わされたのです。イエス様を救い主として受け入れるわたしたちは、たとえ肉体が滅んでも、神さまのみもとでずっと生かされる、それが「永遠の命」なのです。

キリスト教のお葬式に初めて参列した方が驚かれることがあります。それは聖歌を歌う声や祈りの言葉、そして牧師のメッセージに大きな希望と慰めを見出すことができるからです。確かに地上でのお別れに涙は流れます。しかし同時に、また会う時まで、神さまが天に召された方の魂を安らかに憩わせてくださる。そして定められた時に、わたしたちもその交わりの中に加えられる。その確信がわたしたちにはあるのです。

「永遠の命」、それはあなたにも与えられます。

次回は「栄光」です。お楽しみに。